

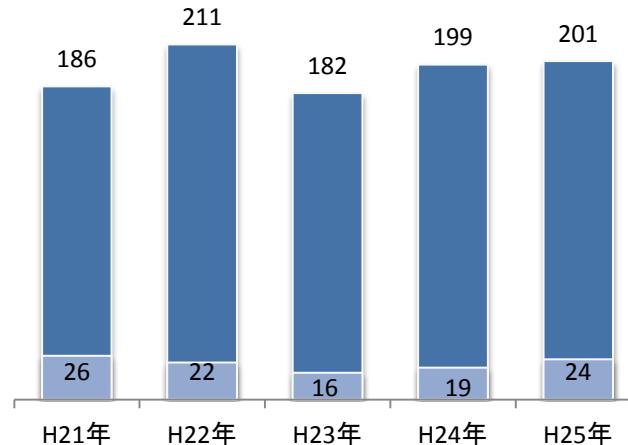
①

# 製造業における労働災害発生状況

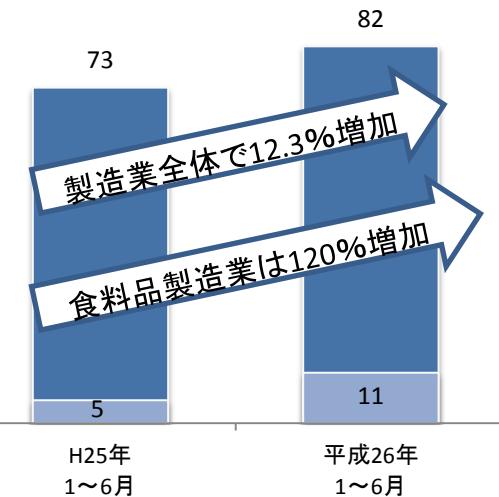
## 死亡災害

- 製造業全体、食料品製造業とも、平成23年以降増加傾向
- 平成26年6月速報値で、製造業全体で対前年同期比 12.3%増
- 食料品製造業は同120%増

製造業における死亡災害発生状況



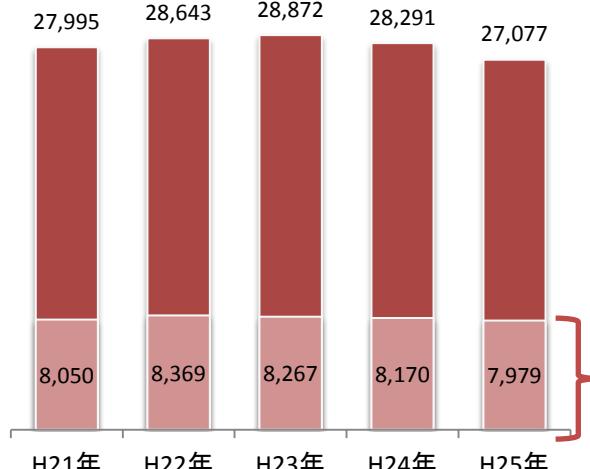
平成26年6月速報値の  
前年同期との比較



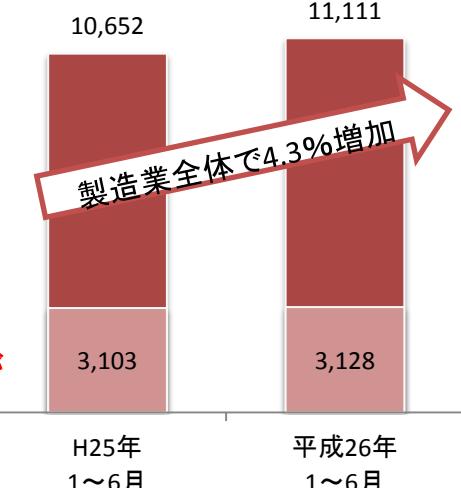
## 休業4日以上の死傷災害

- 製造業全体では平成23年以降、食料品製造業(製造業死傷災害の3割)では平成22年以降、死傷災害は減少
- しかし、平成26年6月速報値では、製造業全体で対前年同期比 4.3%増。食料品製造業も、前年同期より増。

製造業における死傷災害発生状況



平成26年6月速報値の  
前年同期との比較



食料品  
製造業が  
約3割

②

# 製造業における労働災害の特徴

## 事故の型別死傷者数内訳

- 機械等による「はまれ・巻き込まれ」と「切れ・こすれ」の合計で4割近くを占める。

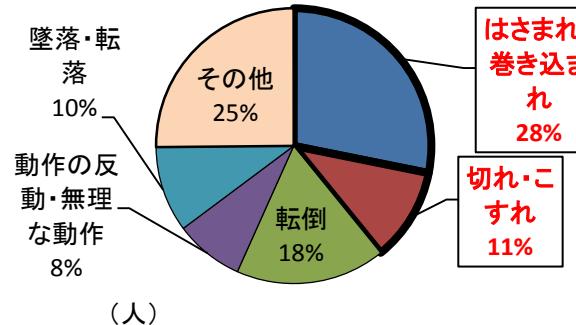
## 起因物別死傷者数内訳

- 機械設備による死傷災害が4割近くを占める。

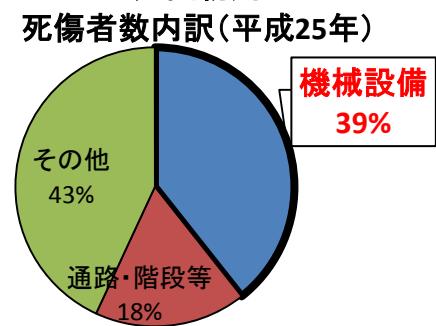
## 経験年数別死傷者数内訳

- 経験年数1年未満の労働者の災害が大幅に増加(9%増)

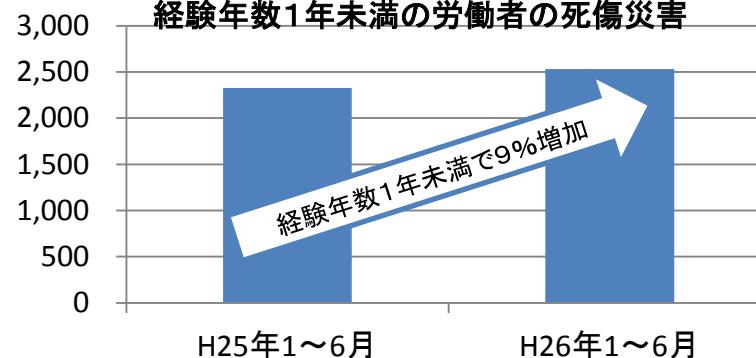
### 事故の型別死傷者数内訳(平成25年)



### 起因物別死傷者数内訳(平成25年)



### 経験年数1年未満の労働者の死傷災害



- 「はまれ・巻き込まれ」や「切れ・こすれ」など、機械等に起因する災害の割合が高い。
- 経験が十分でない労働者の災害が増加している。

機械等における「はまれ・巻き込まれ」と「切れ・こすれ」による災害防止のための対策、新規雇入れ時教育の徹底が必要

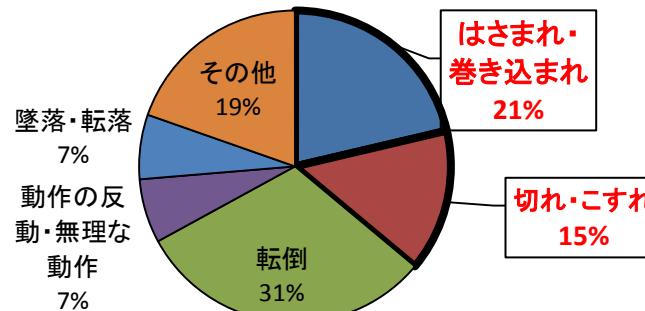
③

## 製造業(食料品製造業)における労働災害の特徴

### 事故の型別死傷者数内訳

- 食料品製造業では、機械等による「はされ・巻き込まれ」と「切れ・こすれ」の合計で4割近くを占める。

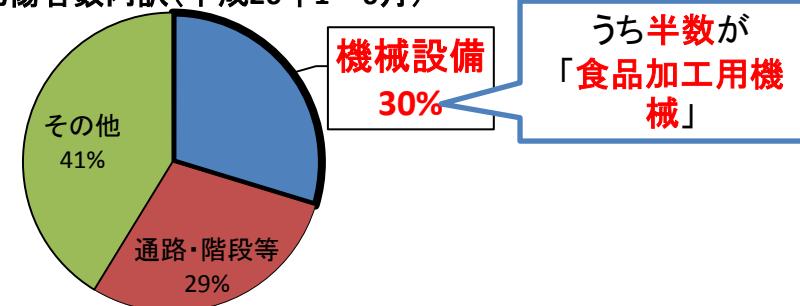
事故の型別死傷者数内訳(平成26年1~6月)



### 起因物別死傷者数内訳

- 食料品製造業では、機械設備による死傷災害が3割を占め、うち半数が「食品加工用機械」

起因物別死傷者数内訳(平成26年1~6月)



- 「はされ・巻き込まれ」や「切れ・こすれ」など、機械等に起因する災害の割合が高い。
- 災害の原因となった機械設備のうち、半数が食品加工用機械
- 食品加工用機械の規定(※刃への覆い等の設置等を義務付け)を追加した改正労働安全衛生規則が昨年10月1日に施行



「はされ・巻き込まれ」と「切れ・こすれ」による災害防止のための自主点検・対策の徹底が必要

## ④ 製造業において取り組んでいただきたい事項

- 1 災害が多発している食料品製造業において、「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」等の食品加工用機械による災害防止のための事業者自身による自主点検の実施・対策の徹底
  - ◆ 平成25年10月1日に、労働安全衛生規則が改正され、食品加工用機械についての規定が追加されているが、その内容を知っているか
  - ◆ 改正内容を実施しているか
    - 食品加工用切断機・切削機の刃の切断等に必要な部分以外の部分に覆い等を設けているか
    - 機械の調整等を行う場合に、機械の運転を停止しているか
- 2 新規雇入れ時または作業内容の変更時の安全衛生教育の徹底
- 3 暑熱時期の熱中症予防対策の徹底
- 4 労働災害防止大会の機会等をとらえ、会員事業場に対する周知・啓発